



東北大学



NTT  
docomo

平成 26 年 12 月 25 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所  
株式会社 NTT ドコモ東北支社

## 東北から減災を伝える！

### 「減災ハッカソン～身近な減災を考える～」参加者募集開始

減災ハッカソン ホームページ <http://rainbow.nttdocomo.co.jp/hackathon/>

東北大学災害科学国際研究所（所長 今村 文彦 教授）と株式会社 NTT ドコモ（以下ドコモ）は、全国のエンジニア・デザイナーを対象にした、「減災ハッカソン～身近な減災を考える～」の参加者を 2014 年 12 月 24 日（水）から募集します。

減災ハッカソンは、「普段の生活で減災を身近に考えられるアプリ」「楽しみながら減災意識を高められるアプリ」を考えることを目的として開催するイベントで、3月に開催される第3回国連防災世界会議の開催に先駆け、2015年2月7日（土）～2月8日（日）の期間、宮城県仙台市内で開催します。東日本大震災から4年がたつ今、「減災」に改めてより多くの人々の関心を集め、減災行動の大切さを広めていくことを目指します。減災を身近に考えることを目指す本イベントでは、認知心理学の知見を活かしたアプリ開発も目指し、セミナーの開催を予定しています。

また、より多くの地元の方に参加していただくことにより、地元発の起業への支援、東北のさらなる復興を後押ししていきます。

このイベントでは docomo Developer support で提供中の画像認識などの API や、Device Connect Web API の提供とともに、端末同士でのアドホック通信を可能とする「Adhoc Communication SDK (β)」などの提供を予定しております。（提供素材等の詳細は募集サイトに順次アップいたします）

今回の最優秀賞作品については、2015年3月14日（土）～3月18日（水）の期間、宮城県仙台市内で開催される第3回国連防災世界会議で、展示する予定です。

多くの方にご応募をいただきたく存じますので、広報にご協力をお願いいたします。なお、「減災ハッカソン～身近な減災を考える～」の詳細は別紙のとおりです。

※ハッカソンとは「Hack」と「Marathon」をあわせた造語で、短期・集中的に共同作業でソフトウェアを開発する、技術とアイデアを競い合うイベントです。

#### <報道関係のお問い合わせ先>

東北大学災害科学国際研究所 助手 保田真理 TEL : 022-752-2090、E-mail: yasuda@irides.tohoku.ac.jp  
NTT ドコモ 東北支社 広報室 大友、伊藤 TEL : 022-752-5110

#### <一般の方のお問い合わせ先>

減災ハッカソン事務局 E-mail : rainbow-ml@nttdocomo.com

「減災ハッカソン～身近な減災を考える～」概要

■開催期間

2015年2月7日(土)～2月8日(日)

■開催場所

東北大学・カタールサイエンスキャンパスホール  
(仙台市青葉区荒巻字青葉6-6 青葉山キャンパス 工学部管理棟1階)

■応募開始

2014年12月24日(水)

■応募対象

ハッカソンに興味のあるエンジニア・デザイナー

■応募部門

【エンジニア枠】40名程度

【デザイナー枠】10名程度

■ファシリテーター

原 亮

(Fandroid EAST JAPAN 理事長/みやぎモバイルビジネス研究会 会長/Global Lab SENDAI 代表幹事)

[敬称略]

■ゲストスピーカー

邑本 俊亮(東北大学災害科学国際研究所 災害情報認知研究分野 教授)、保田 真理(東北大学災害科学国際研究所 災害リスク研究部門津波工学研究分野 助手) [順不同・敬称略]

■審査員

保田 真理(東北大学災害科学国際研究所 災害リスク研究部門津波工学研究分野 助手)、平山 準一(仙台放送 ニュービジネス開発局長)、太田 巖(河北新報社 取締役 論説・編集・デジタル担当)、大西 清(GLOBAL Lab SENDAI ゼネラルマネージャー)、笹原 優子(株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ スタートアップ支援担当 Managing Director)、松木 彰(NTTドコモ 法人ビジネス戦略部 部長)

[順不同・敬称略]

■応募方法詳細

減災ハッカソンホームページから、応募可能。詳しくはホームページ参照。

<http://rainbow.nttdocomo.co.jp/hackathon/>

■参加賞

東北復興支援アクセサリ「森林保全クレジット付リングストラップ」を参加者全員にプレゼント。



■受賞者特典

最優秀賞：賞金 10 万円、その他企業賞も設置予定。

■表彰式

2015 年 3 月 5 日（木）、NTT ドコモ東北支社にて開催する「ドコモ 東北復興の会」にて、入賞チームを招いて実施予定。

■主催

東北大学災害科学国際研究所、株式会社 NTT ドコモ

■後援

仙台市、第 3 回国連防災世界会議仙台開催実行委員会、河北新報社、みやぎモバイルビジネス研究会、GLOBAL Lab SENDAI、株式会社ドコモ・ベンチャーズなど（予定）